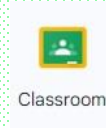


リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立東中学校（埼玉県）

【取組内容②】 ICTに係る専門家によるオンライン授業の実施

吉川市のデジタル・シティズンシップ教育のねらい
市内教職員及び児童・生徒の情報活用能力の育成とICTの善き使い手としての資質・能力を育てる。



一室からオンラインで複数学級一斉授業を実施



吉川市のデジタル・シティズンシップ教育 6つのレクチャーテーマ

- ① インターネットの特性・仕組みを学ぶ
- ② インターネットの投稿を考える
- ③ インターネット上の悪口・いじめを考える
- ④ インターネット上のウソやだましにのらない
- ⑤ インターネットのマナー・プライバシー・権利を守る
- ⑥ メディア・リテラシーを高める

市内全校小1～中3まで実施

様々な事象を「自分事」として捉える

令和4年度はデジタル・シティズンシップに関わる網羅的な内容を学習



令和5年度は、令和4年度学習したことを活かし、より実践的な学習を実施

中学1年生
令和4年度に引き続き、網羅的に6本のレクチャーテーマを学習する。

中学2・3年生
令和5年度は、6つのレクチャーテーマの中から、いくつかを抽出し、実践的な学習を行う。

スマートフォンを利用する際の生徒の考え



中学1年生

中学2・3年生



6つのレクチャーテーマを網羅的に学習

SNSの投稿から情報の真意を読み取る学習を実施。自分が実際にその投稿を見たときにどう感じるのか、またそのときどのように対処していくかを話し合い、考えた。

スマホには様々なサービスという恩恵と、スマホにコントロールされるリスクがある。

スマホ等ICTの恩恵とリスクは何か どうするスマホやタブレットの誘惑

誘惑に打ち勝つには、目的を考える必要がある。娯楽のためならそれで構わない。目的を考えて利用すること、それがスマホを利用する術なのである。

他者の意見を取り入れ自分の学びを深める